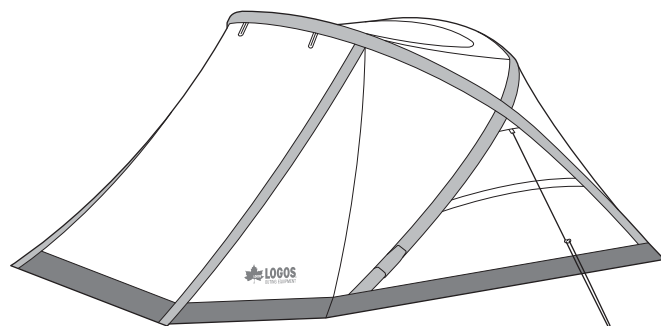




エアマジックWクロスドーム M No.71201052

【設営・取扱説明書】

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



【部品構成表】 ()は素材

フライシート×1 	エアポンプ×1 	ペグ (スチール) ※サービス品	小物用ロープ×1 1.6M ※装着済み
キャンピーポール×2 (スチール) 	ロープ×2 1.5M ※装着済み	ロープ×2 キャンピー用・2.5M 	

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。



商品ページ▶



注意

- テント・タープ内では、絶対に火気を使用しない。
(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテント・タープを設営・撤収しない。
(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。
(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)

上手な
使いかた

- 生地内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- 付属のペグはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

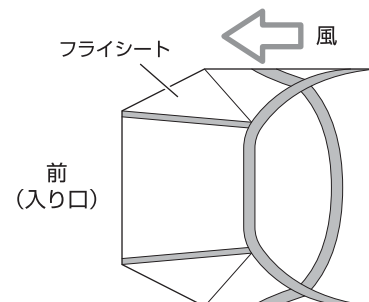
- ペグで地面に固定する。
(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。
(落下によるけがのおそれ)

- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- エアポンプは立てた状態で保管してください。
(寝かせた状態で長期間放置すると、内部のグリースが外に漏れ出て生地などを汚損するおそれ)

【設営方法】

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げる

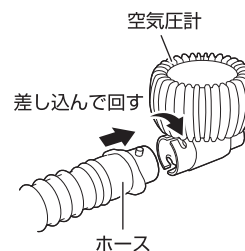


Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- チューブがなるべく折れ曲がらないように広げてください。

2 エアポンプを組み立てる

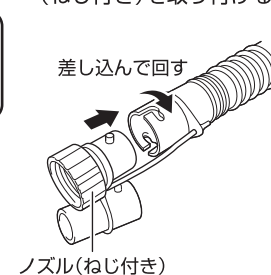
①空気圧計とホースを接続する



②「INFLATE」側にホースを取り付ける



③ホースの先端にノズル(ねじ付き)を取り付ける



※空気を注入するときは、必ず「INFLATE」側にホースを取り付けてください。
テントのバルブには空気弁があるため、「DEFLATE」側にホースを取り付けても、テントの空気は抜けません。

続きは裏面をご覧ください。

3 エアポンプでチューブに 空気を送り込む

- ②ノズルを差し込んで
ねじを締める
- ③空気を入れたら
ノズルを外して
ふたを閉める

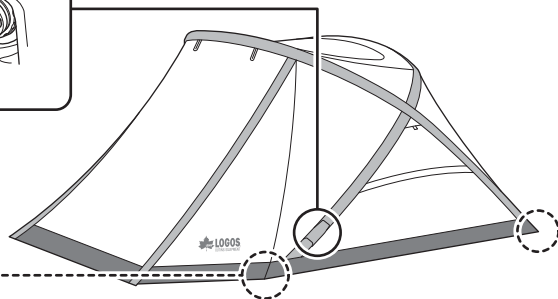


- ④ベルトを
ゆるめておく
(4か所)
- SUPPORT
BELT SYSTEM



注意

- 気温が30度を超える場合は、エアチューブ
へ空気を入れ過ぎないように注意する。
(高温で内部が膨張して破裂するおそれ)
- ※気温の上昇が予想される場合は、テントが
自立したら注入をやめるなどして調整して
ください。



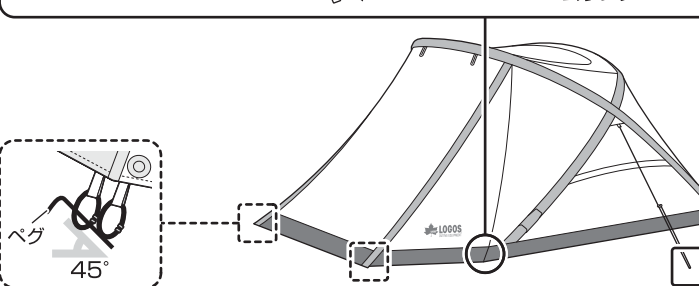
Point

- チューブが折れないように注意してください。(空気がうまく送り込まれないため)
- チューブが9割ほど膨らんだら、指でチューブを押して空気の入具合を確認してください。
指で押すことができなくなったら注入完了です。
- 適正psi値は8~9psiです。(気象状況や標高によって適正値は異なります。あくまで目安としてください)

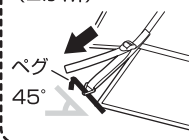
4 ペグで固定する

- ペグは8か所打ち込む。

- ①ペグで固定
- ②ベルトを締める
- ③ゴムリングをペグに通す



- ペグで固定し、
ベルトを締める
(2か所)



- ペグで固定
(2か所)
自在金具
ペグ
向きに
注意
45°

※撤収時は再度ベルトをゆるめてください。

■ 取り扱いについて

【重要】

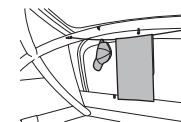
- チューブカバーのファスナーは開けない。
(中のチューブがはみ出て、破損のおそれ)
- 破損していた場合は、お客様専用回線までご連絡ください。



- 気温の変化などで、チューブがゆるくなったと感じたときは、エアポンプで空気をたしてください。

Point

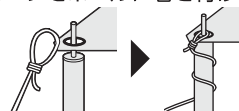
- テント内の小物用ロープには、
タオルなどをひっかけることができます。
※極端に重い物を吊り下げないでください。



本製品は、構造上、内部が結露しやすくなっています。
窓や入り口の一部を開けるなど、通気性を高めることで結露を軽減できます。
また、使用後は必ず内側の水滴を拭き取り、よく乾燥させてから収納してください。

■ 入り口の固定のしかた(キャンピーポールを使用)

- ①ボールの先端をグロメットに通し、
ロープをボールに巻き付ける



- ②ペグで
固定
自在
金具
ペグ
45°
向きに
注意



撤収方法

- ①バルブをゆるめて空気を抜く
(一気にゆるめると大きな音が出ます)

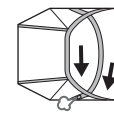


- 勢いよく空気が出る
ためバルブに顔を
近づけない。
(けがのおそれ)

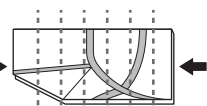


注意

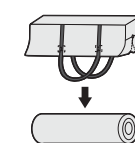
- ②ペグを抜く
- ③バルブ側に向かって
端からチューブを巻き、
チューブに残った空気
を抜く(1か所)



- ④シートを広げて、
収納バッグの幅に
合わせて折る



- ⑤収納バッグをかぶせる



- ⑥エアポンプからホースを取り外して、
収納バッグに入れる